英語科学習指導案

泉南市立信達中学校

授業者 泥谷奈光子 ALT Alan Hards

- **1**. **日 時** 平成 25 年 12 月 13 日 (金) 第 3 限 10:35~11:20
- **2**. **学年、組** 第 2 学年 4 組 4 0 名 (男子 2 0 名、女子 2 0 名)
- 3. 場 所 A棟3階 英語教室
- 4. 単元名 ONE WORLD English Course2(教育出版) Unit2 Lesson5 Task

5. 指導にあたって

(生徒観)

2年4組の生徒は、明るく活発な生徒が多く、授業中の発言量も多い。また、学級活動や総合的な学習の時間など、普段から班活動を積極的に取り入れることで、互いに協力しあい、教え合うことのできる雰囲気ができていると言える。プレゼンテーションの準備として、発表原稿を考え、英文にする作業段階では、英語に対してあまり意欲的に取り組めない生徒にも班のメンバーが声をかけ、協力して作業している姿が見られた。

(題材観)

本単元は、ハロウィンをテーマに外国の習慣や食べ物、文化が会話表現を用いて紹介されている。Lesson5 Part2 では、ボブの母親がハロウィンパーティーでパンプキンパイのつくり方をアヤ達に説明する場面が扱われており、生徒たちにはこの場面を「日本食」というテーマで発表させる。プレゼンテーションの準備から発表までの過程を通して、「物事を順序だてて論理的に英語で表現する力」を生徒たちにつけさせたい。

(指導観)

2年生は以前に「世界遺産旅行」というテーマでプレゼンテーションを行っており、班での発表は今回で2度目となる。前回は自分たちで作成した発表原稿を覚えるので精一杯であったが、本単元では、生徒自身が身近な日本食について英語での表現の仕方を調べ、パワーポイントのスライド作成を行うことで、英語で日本文化を発信することに興味を持ってもらいたいと考えている。また、原稿作成を始め、発表、仲間の発表を聞くこと、生徒同士のフィードバックを通して、聞く、話す、読む、書く、の4技能により一層磨きをかけることを目標としている。

6. 単元目標

- ・料理の仕方を順序だて、英語で表現することができる
- ・班で協力し、1つのプレゼンテーションを完成させることができる
- ・プレゼンテーションの発表内容を理解することができる

7. 単元の指導計画(全6時間)

第1時 ・プレゼンテーションの説明、メニュー、役割決め

第2時 ・発表原稿作成

第3時・パワーポイントのスライド作成①

· 発表原稿完成

・原稿の読み合わせ

第4時 ・パワーポイントのスライド作成②

• 発表練習

第5時 ・スライドを用いての発表練習

・リハーサル

第6時(本時)・プレゼンテーション

8. 単元の評価規準

コミュニケーションへの	り回去ませの化力	外国語理解の能力	言語や文化に関する
関心・意欲・態度	外国語表現の能力 		知識・理解
・仲間と協力して1つ	・既習表現を用いて、	他の班のプレゼンテ	・料理に使用する英単
のプレゼンテーショ	相手に伝えたいこと	ーション内容を理解	語や表現を理解し、英
ンを完成させること	を表現できる	することができる	文を正しく書くこと
ができる	・プレゼンテーション		ができる
・積極的な態度でプレ	の内容に関する質問		・日本食についての理
ゼンテーションに臨	に答えることができ		解を深め、日本の食文
むことができる	る		化として世界に発信
			することができる

9. 本時の目標

- 班で協力してプレゼンテーションができる
- ・各グループの発表内容を理解し、フィードバック(振り返り)をすることができる

10. 本時の評価規準

- ・班全員で協力しあい、プレゼンテーションができているか
- ・他の班からの質問に英語で答えることができるか
- ・他の班へのフィードバックと質問ができているか

11. 準備物

パソコン、プロジェクター、CD、BGM、スピーカー、カラーボール、カラーボックス、評価シート

12. 本時の指導計画

	生徒の活動	教師の指導と援助	留意点	評価
導入	· Greeting		・元気よく挨拶し、	
(3分)	· Small talk		生徒の緊張をほぐす	
	(発表グループ)			
	・プレゼンテーショ	・本時の流れを説明	・暗記が苦手な生徒	・積極的な態度で発表
	ンを行う	する	にはヒントカードを	できているか
		・タイムマネージメ	用意しておく	(活動の観察)
		ントを行う		
	・他の班からの質問		・生徒が答えにつま	・班全員で協力できて
	に答える		ったら手助けをする	いるか
	・プレゼンテーショ	・机間指導		(活動の観察)
	ンを終えて感想を書			
	<			
展開①	(その他の班)			
	・発表班の発表を聞		・生徒が静かに発表	発表班のプレゼンテ
(30分)	<		を聞くことができる	ーションを理解しよ
			ように指導する	うとしているか
				(活動の観察)
	・発表班のプレゼン	・生徒が質問しやす		・相手の発表内容を理
	テーションが終了す	いように声かけをす		解し、適切な質問がで
	る度に次の班が1つ	る		きているか
	質問をする			(活動の観察)
	・発表班のフィード	・机間指導	・コメントが書けて	・評価シートのコメン
	バックを行う		いない生徒には声か	ト欄まで書き込むこ
			けをする	とができているか
				(評価シートの確認)

展開② (7分)	• best performance	・投票方法を説明す	・ALT は2票を箱の	・評価シートを活用
	賞を投票で決める	る	中に入れる	し、班で話し合いがで
	(各グループの班長	・ 開 票 後 、 best		きているか
	が箱の中にボールを	performance 賞を発		(活動の観察)
	1つ入れに来る)	表する		
まとめ (5分)	・ALT からのフィー	・フィードバックの	・フィードバックシ	・評価シートの振り返
	ドバックをもらう	内容を生徒と確認	ート (振り返り用)	り欄に書き込むこと
		し、本時の振り返り	を用意する	ができているか
		を行う		(評価シートの確認)
	· Greeting	・挨拶をする		

【ご高評欄】